

葉シヨウガ販売、地元例大祭を後援

東秋留支店は9月9日、「二宮神社秋季例大祭(生姜祭り)」を後援し、あきる野産の葉シヨウガを販売しました。

高温と雨不足で葉シヨウガが不作でしたが、80束の葉シヨウガを用意しました。「JAで販売するあきる野産の葉シヨウガはとてもおいしい」と地域住民から好評で、販売開始から30分で売り切れました。

隣接する神輿休憩所で、支店職員が担ぎ手に飲み物や熱中症対策の塩タブレットを配り、ねぎらいました。村野光伸支店長は「4年ぶりのお祭りに参加し、地域に密着したJAをアピールできました」と話しました。



葉シヨウガを販売する職員

東秋留支店 山田 由香里

ダイコン種まき、園児が体験

日の出町農業委員会は9月11日、町役場南側の畑でダイコン栽培体験を開きました。町内6カ所の保育園と幼稚園の園児101人が参加しました。

園児はマルチシートを張った30メートルの畝のマルチ穴に2粒ずつ種をまきました。日の出支店は種や肥料などの資材提供の他、種まきのサポートを行いました。

同委員会の辻本泰啓職務代理は「年長の園児を対象としているので、卒園前の行事として、楽しく種をまいて、思い出に残ってくれたらうれしいです」と話しました。



真剣にダイコンの種をまく園児

日の出支店 田邊 昭太

白熱、GG大会開催

多西支店年金友の会は9月27日、市民運動広場で「第7回秋季グラウンド・ゴルフ(GG)大会」を開きました。

同友の会では、会員の健康増進と会員同士の親睦を図るために、さまざまな活動をしており、今大会もその一環。26人が参加し、地区ごとに4チームに分かれ、2試合の合計得点で順位を競いました。

グラウンド・ゴルフ部長の山本嘉一さんは開会式で「とにかく楽しく、明るく、元気に、怪我のないように頑張りましょう」と話しました。ホールインワンが4回達成されるなど白熱した大会になり、草花チームが優勝しました。



強い日差しの中GGを楽しむ参加者

多西支店 田中 宏季

学校へ行こう

女性部増戸支部は10月31日、「学校へ行こう」と題して、あきる野市立増戸小学校を訪れ、3年生にのらぼう菜の苗の植え付けを指導しました。この活動は児童の農業や食への関心を高めるのが目的です。のらぼう菜は来春に収穫し、おやきやおひたしにして食べる予定です。植え付け作業は「家でも植えてみたい」「来年が楽しみ」と児童に好評でした。

櫻井由美子支部長は「作業を通して、良いふれあいがありました。児童が楽しみながら関心をもってもらえるよう、今後も活動を続けていきたいです」と話しました。



植え付けを指導する部員

増戸支店 高水 歩